

タイ北部・山岳少数民族「アカ族」との クリスマス・ユース・キャンプツアー！

世界は広い！素晴らしい体験ができること請け合いです！平山宣教師と、笑いあり涙ありの忘れられない旅と一緒にしませんか？老若男女問いません。是非お待ちしております！



日程

2010年3月26日（金）～4月1日（水）（成田着は4/2）

場所

タイ チェンライ県 山岳地帯

宿泊

富士山寮（学生寮）*NPO関連支援施設

費用

¥95,000（飛行機代、生活費、ガソリン税込）

主催

門よ開けミニストリー（代表者：平山義明宣教師）／アカ族交流キャンプ実行委員会

持物

パスポート 聖書 筆記用具 着替え（長袖も） 水着 タオル 常備薬
虫除け シャンプー 石鹸類（下着も手洗いします） 非常食（任意）

※注：高級ブランド物や、DS等のゲーム機などの持込はご遠慮下さい。

安全

任意の傷害保険をご希望の方は別途（6,520円から）空港で加入できます。

内容

日・アカ交流キャンプ、日本語・アカ語レッスン、現地見学及び観光（川遊び、下り、温泉等）、アカクリスマス青年大会参加（オープンセレモニーのみ）

申込締切

2010年 2月 5日（金）

2月末に、このツアーのためのオリエンテーションを企画しておりますので、追ってご連絡いたします。その際に、しおりをお配りし、航空会社（便名）、待ち合わせ等の確認をしていきたいと思っております。

クリスマス・ユース・キャンプツアー申込書

以下の内容を記入し、下記の住所に郵送か、FAX・メール等でお送りください。追ってご連絡いたします。

氏名：フリガナ		住所：〒		電話：
				携帯：
				PCメールアドレス：
性別：	学校名：	学年：	保護者署名印：	
男・女		1・2・3		
教会名：			健康上の留意点・その他：	
・行っていない				

〒359-1151 埼玉県所沢市若狭1-2620-29（オレンジカフェチャーチ内 門よ開けミニストリー事務所）

担当窓口：平山廣恵 TEL/FAX: 04-2949-2171 メール：info@monyokane.com

HP：http://thai.monyoake.com（タイ・プロジェクト） & http://orange.monyoake.com（オレンジカフェチャーチ）

心示された方・ツアーには行かないけど献金なら…という方も、ご協力頂ければ感謝です。

香港・中国の働きのため：三菱東京UFJ銀行 野方支店（普）4097309 口座名義：ヒラヤマヨシアキ

タイ・プロジェクトのため：郵便振替：00160-2-266821 加入者名：門よ開けミニストリー（代表者：平山義明宣教師）



Church Construction Project for Ethnic Minorities (Chiang Rai, Thailand) タイ チェンライ・少数民族教会建設プロジェクト

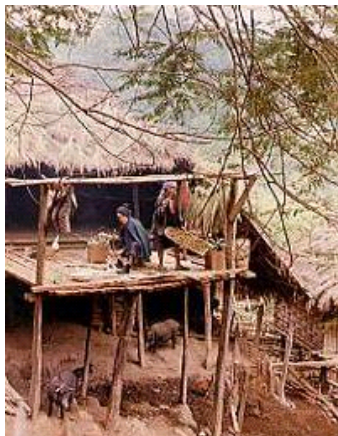
「父がわたしを遣わしたように、わたしもあなた方を遣わします。」 — ヨハネ 20 : 21

タイ北部チェンライの教会で行われるクリスチャンの若者を中心とした交流キャンプ、この会場となる教会は平山宣教師（香港）そしてヨハン師（タイ）、そして多くの方々の協力によって現在完成しつつあります。

タイ北部一帯に居住する山岳民族の中であって、アカ族のクリスチャンたちは山間僻地で貧困と悪条件と戦い、たくましく証ししてきました。しかし、タイ人社会に埋もれて民族性が失われつつある危機感を覚える中で、自分たちの言語を使って礼拝できる教会を都市近郊に建てるには力不足でした。会堂を与えてください、と切望してきたその長年の祈りが今、かなえられようとしています。日本のクリスチャンが自立を助け、そして将来的には日本との交流の場となるだけでなく、南アジア5カ国に分散すると同族伝道の足がかりとするというのがこの教会建設の趣旨でありビジョンです。

今回のイベントの目的はタイにいるアカ族の青年、そして日本から来るクリスチャンの青年達が交流の中でお互いの文化を理解しあい、共に成長することにあります。特に経済不況の中、将来に不安を感じる日本の若者たちが、貧しさの中でも希望をもって生きている民族のクリスチャン指導者、青少年たちとの交流を通して、普段自分たちが物質的にどんなに恵まれているか、また、物質的豊かさだけが私達を満足させるのではないということを知ることができます。また同時に霊的な重荷、伝道の意欲が与えられて帰って来ることができると期待できます。

最近タイの政権不安定の影響で治安、安全性が問われていますが、問題があるのは南部で北タイは変わらず治安は良いようです。会場は国際空港でもあるチェンライエアポートから車で20分と近くとても安全な場所と言えるでしょう。参加者は生活上の不便さは多少覚悟してもらうことになります。しかし不便な生活の中で、日本の若者が学ぶところは多く、人生で貴重な体験になるでしょう。



～門よ開けミニストリー 一同～